

■ CSRへの取り組み

当グループはコンプライアンス(法令遵守)や企業倫理の徹底、社会貢献などを積極的に推進し、CSR活動に取り組んでいます。

■ RoHS対応で有害物質の拡散を防止

RoHS(Restriction of Hazardous Substances)指令は、欧州共同体(EU)において、電気電子機器に含まれる特定有害物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、臭素系難燃剤のPBBおよびPBDE)の使用を2006年7月1日以降、禁止する法規制です。当グループは欧州向け全製品のRoHS対応を2005年末に完了。引き続き、日本の法規制であるJ-Moss(JIS C0950 規格:特定有害物質の含有状況の表示)を引用した資源有効利用促進法及び北米や中国でのRoHS指令相当の法規制についても、確実に対応を行なうため、環境行動目標に2006年6月末廃止を掲げ、推進しています。

■ 地球温暖化防止活動

当グループは、地球温暖化の防止に積極的に取り組んでいます。環境省が主催・運営する二酸化炭素(CO₂)の排出を削減する「チーム・マイナス6%」運動に、当グループより13社が参加。そのうちの1社である高知カシオ(株)では、温暖化の影響が特に大きい三フッ化窒素(NF₃)の使用を2005年3月に全廃。さらに環境行動目標として、CO₂以外の温室効果ガス総排出量を2010年に2000年排出量以下とする取り組みを進めています。



■ 「カシオ創造憲章」の浸透活動

当社の経営理念である「創造 貢献」の意味を全社員が常に意識し、行動する際の規範とするために「カシオ創造憲章」及び「カシオ行動指針」を制定しています。浸透活動の一環として、社内で定期的にWebマガジンを発行。経営トップ自らが当社のあるべき姿について触れたメッセージを発信し、全社員への浸透に努めています。



■ 個人情報保護

当社は個人情報を安全・適正に取り扱う体制づくりの一環としてプライバシーマークの認証取得活動を推進。2004年より全個人情報の棚卸し、格付け、リスク分析を実施し、この結果に基づき各種規定を定め、全従業員・役員への教育、情報システムへのアクセス管理・ログ管理の強化、個人情報お取り扱い先との契約見直し、内部監査の実施、是正・改善などを、PDCAサイクルのマネジメントシステムとして推進してきました。これらの活動結果をふまえて2005年3月に取得申請を行ない、書類審査及び実地審査を経て、同年12月に同マークの付与認定を受けました。



■ 社会貢献活動

事業外の社会貢献活動としては「カシオ科学振興財団」が25年にわたり、年1回萌芽的な科学研究に対して資金助成を行なっています。また、次世代を担う子供達と環境保全を中心テーマとして、キッズISO活動に協賛し、小学生向けの環境教育を支援している他、甲府カシオ(株)を中心に小学校の校外授業として工場見学プログラムを提供しており、製造ラインの見学をはじめ、創業時のエピソードや現在の環境保全活動の説明、また実際に自分の手で電卓を組み立てる体験学習を行なっています。



さらに、当社の各事業所、グループ各社において企業訪問の受け入れ、学校の先生方の民間研修派遣への協力、防災協力、献血活動、地域緑化活動、設備の寄付等を通じて、地域社会との対話を図っています。